

佐那河内村の祭りと民俗芸能

高橋 晋一
(徳島大学総合科学部 文化人類学・民俗学)

1. はじめに

- ・佐那河内村の3神社（大宮八幡神社、朝宮神社、嗟峨天一神社）の祭り・民俗芸能を取り上げ、その特色と文化財的価値について紹介。

2. 大宮八幡神社祭礼

- ・大宮八幡神社について

一名東郡佐那河内下字高樋 79 に鎮座、旧郷社。祭神は八幡大神、足仲彦天皇、姫大神、高良大明神、息長帯姫命、大鷦鷯尊。和銅元年（708）2月、佐那県に神地を卜定して宇佐八幡宮の神霊を勧請したと伝える。のち細川頼春の崇敬深く、代々細川氏の祈願所となる。蜂須賀氏は入国以来信仰深く、毎年神事料として玄米一石二斗の奉納があった。氏子約 250 戸。

- ・祭礼

例祭（秋祭り） 10月15日→10月第3日曜日

1月1日 歳旦祭、旧6月15日 夏祭り

- ・御神踊り

昔は各地区で盆を中心に園瀬川の河原等で行われていた。佐那河内村は神踊り歌の宝庫（かつて31種の歌が伝承）。現在は高樋・尾境地区で伝承。

8月15日夕方、大宮八幡神社拝殿（かつては境内）、尾境集会所前（かつては河原）で奉納。踊り場の結界、盆棚のしつらえ。

※神踊りーかつて徳島県全域に見られた風流踊り（太鼓踊り）

- ・屋台

一屋台（神楽屋台）1台、打ち子3名（大太鼓1、小太鼓2／摺り鉦2）、笛数名（若連）。

※笛の入る囃子は県内でも少ない（表1）

- ・祭りにおける神社間の行き来
- ・六社まいり

一秋祭りの宵宮に村内の六社を回り御神楽を奉納する

※寛保3年（1743）『阿波国神社御改帳』記載の村内六社

- 一、下佐那河内村 大宮正八幡 神主 下佐那河内村 勘太夫
- 一、同村 大宮ノ末社 妙見 同 孫太夫
- 一、同村 応神天皇 杉宮八幡宮 右同
- 一、同村 素戔嗚尊 滝宮大権現 右同
- 一、同村 嵯峨天一神宮トアリ 天一神 同村 勘太夫
天照大神荒魂瀬織津姫神
- 一、上佐那河内村 朝宮大明神 同 孫太夫
- 右六社佐那河内総氏神 祭礼八月十五日

・祭りの実際

当日は昼から神事、御霊遷し
 神輿の御旅所渡御 屋台が先導、お供も供奉
 馬場先（園瀬川岸）の御旅所で神事、御神楽を上げる
 御旅所祭の神事後、神輿が川に入る
 夕方には神輿はお入り
 ※川に入る神輿は県内でも少ない（表 2）

3. 嵯峨天一神社祭礼

・嵯峨天一神社について

一名東郡佐那河内下字宮ノ本 1 に鎮座、旧村社。祭神は天照皇太神、月読命、大白^{おおしろ}星神^{ほし}。弘仁 3 年（812）正月 11 日勧請と伝える。永禄 11 年（1568）再建の棟札を所蔵。もと天一神宮、天日神社と称していたが、明治の初め、嵯峨天一神社と改称。氏子約 160 戸。

・祭礼

例祭（秋祭り） 10 月 15 日→11 月 3 日
 年間を通して多くの祭礼行事（表 3）

- ・鍬祭り 2 月 11 日、7 月 11 日一木製の鋤・鍬・鎌を神前に奉納
 鍬祭り（鍬初め）一豊作を祈る予祝行事、基本的に個人（各農家）が畑で行う
 神社（地域）で鍬祭りを行う事例は多くはない
 夏に鍬祭りを行うところは珍しい（麦の収穫感謝？）

・御供握り 秋祭りの宵宮（11 月 2 日）

円錐形のおごく（ご飯）を神前に供える。神饌の古い形。

「一、十五日御供下り朝五ツ時右御供幣殿西口棚へ相下ケ夫々名面相記有之候得ハ名面引合之上頂戴可致事」

（「天一神社祭礼遼方諸事取究帳」文久 2 年（1862））

- ・夏祭り（麦初穂） 7 月 15 日
- ・「割元」を中心とした祭祀システム

- ・六社まいり
- ・屋台
屋台（神楽屋台）1 台－嵯峨天一神社祭礼、小型屋台（よいやしよ）1 台－八坂神社・秋葉神社祭礼、打ち子 3 名（大太鼓 1、小太鼓 2／摺り鉦 2）、笛数名（若連）
- ・祭りの実際（11 月 3 日）
祭り当日は昼から神事、御霊遷し
神輿の御旅所渡御 屋台が先導、お供も供奉
「一、壱番額 二番猿田彦 三番幟 四番鳥毛左右 五番毛鎗須立 六番御弓左右 七番御幣左右 八番神楽 九番御神酒 次鉦 次輿 次鉦御輿四方角に立」
（「天一神社祭礼遼方諸事取究帳」文久 2 年（1862））
嵯峨川に沿って南へ、数ヵ所で拝んで折り返す
御旅所祭の神事後、神輿は神社に戻る
境内の野舞台で浦安の舞の奉納

4. 朝宮神社祭礼

- ・朝宮神社について
一名東郡佐那河内村上字宮前 59 に鎮座、旧村社。祭神は天照皇太神、荒魂あらかみたま、瀬織津せおりつ姫命ひめ。創建年代不詳、往古は杖の尾山の中腹に鎮座、中古に同山麓に遷座。その後、佐那河内の領主野田氏並びに近藤権頭行高が深く崇敬し、明応元年（1492）現在地に奉遷した。氏子約 320 戸。
- ・祭礼
10 月 15 日→10 月体育の日（昭和 60 年から）→10 月第 2 土日曜（平成 12 年から）
1 月 1 日 歳旦祭、旧 6 月 15 日 夏祭り
- ・六社まいり
- ・ショウジリの「コミヤ回り」（各地区の小祠をまわり御神楽を奉納）－昭和 20 年代まで
- ・屋台
屋台（神楽屋台）1 台、打ち子 3 名（大太鼓 1、小太鼓 2／摺り鉦 2）、笛数名（若連）－その年の「神楽組」（地区の輪番）が担当
- ・獅子舞
－嘉永年間（1848-54）に石井町大万より災難（火災・疫病）除けのため導入されたと伝える。中畑・奥野々獅子保存会（かつての獅子連）が伝承。
- ・踊り

一中畑・奥野々地区の子供が奉納。奴踊り、扇子踊り、袖踊り、傘踊り、棒踊りなど。大正時代に始まる。

・宵宮の行事の流れ（2001年調査時）

- 8:30 屋台の清掃、飾り付け（境内）
- 10:00 屋台の六社まわり開始（神社を出発）（御神楽奉納）
- 12:00 六社参り終了（神社に帰還）
- 13:00 屋台の宵練り開始（神社を出発）
- 13:20 獅子舞・踊りの奉納（神社境内）
- 13:40 獅子舞・踊りの六社まわり開始
- 17:00 屋台、谷集会所に到着
- 17:00 獅子舞・踊りの六社まわり終了（神社に帰還）

・本祭の行事の流れ（2001年調査時）

- 9:00 屋台が谷集会所を出発、御神楽を上げながら朝宮神社に向かう
- 11:00 屋台の宮入り
- 12:00 例大祭の神事（拝殿）
- 12:30 御神楽の奉納開始（境内の屋台）
- 12:40 獅子舞・踊りの奉納開始（境内西側）
- 12:45 小型神輿に御霊代を奉遷する（拝殿）
- 12:50 小型神輿が社殿を出る
- 12:55 小型神輿から神輿に御霊代を奉遷する
- 13:00 お練りの出発。天狗、社号額、毛槍、金幣／総代／馬当屋などが供奉
- 13:00 獅子舞・踊りの奉納開始（お入りまで断続的に）
- 13:05 子供相撲開始（境内西側の土俵）（～13:40）
- 13:50 松下自動車前で神輿・屋台が分かれる（以後、別行動）
神輿－佐那河内村役場前で折り返し／川に入る＝川渡御（2ヵ所）／神社に戻る
- 屋台－所定の家の前で止まり、御神楽を上げる／川入り（1ヵ所）／神社に戻る
- 17:00 神輿、屋台の順に境内に入る
- 17:05 境内に神輿、屋台を据え置く
- 17:05 御神楽の奉納開始（屋台）
- 17:05 獅子舞の奉納開始（境内西側）
- 17:05 神輿より御霊代を取り出し、小型神輿に奉遷する
- 17:10 小型神輿が拝殿に上がり、本殿に御霊代を奉遷する
- 17:20 御神楽奉納、獅子舞奉納が終了、後片づけ開始
- 17:25 屋台の引き継ぎ（境内）

5. おわりに

- ・ 県東部の（近世以降の）伝統的な祭りの形を伝える
- ・ 神輿渡御＋屋台巡行＋民俗芸能（獅子舞、踊り、奉納相撲）
- ・ 特色ある習俗

六社まいり	大・朝・嵯	神輿の川渡御	大・朝
笛の入る囃子	大・朝・嵯	屋台の川入り	朝
獅子舞、踊り	朝	鍬祭り	嵯
奉納相撲（神相撲）	朝	御供握り	嵯
御神踊り	大	麦初穂	嵯

参考文献

- 角川日本地名大辞典編纂委員会編 1986 『角川日本地名大辞典 36 徳島県』角川書店
- 佐那河内村史編集委員会編 1967 『佐那河内村史』佐那河内村
- 佐野之憲 1976 『阿波誌』笠井藍水訳、歴史図書社
- 神道大系編纂会編 1989 『神道大系・神社編 42（阿波・讃岐・伊予・土佐国）』神道大系編纂会
- 高橋晋一 2002 「朝宮神社祭礼について」『阿波学会紀要』48、pp.201-205
- 高橋晋一 2008 「徳島県における祭礼山車の展開—文化交流史の視点から」地方史研究協議会編『歴史に見る四国—その内と外と』雄山閣出版、pp.217-238
- 徳島県神社庁教化委員会編 2019 『改訂徳島県神社誌』徳島県神社庁
- 西垣晴次 1984 「御鍬神考—近世伊勢信仰の一側面」『民衆宗教史叢書 伊勢信仰Ⅱ』雄山閣出版、pp.283-312
- 檜瑛司 2004 『徳島県民俗芸能誌』錦正社
- ふるさと佐那河内編集委員会編 1992 『ふるさと佐那河内』佐那河内村
- 名東郡史続編編集委員会編 1971 『名東郡史 続編』名東郡自治協会

表1 笛の入る囃子(徳島県)

No.	神社	所在地	機会	実施日	備考
1	天満神社	徳島市法花谷99	例祭	11月2日	現在笛は休止
2	八幡神社	徳島市洪野町学頭36-1	例祭	11月3日	
3	宅宮神社	徳島市上八万町上中筋558	例祭	11月3日	
4	大宮八幡神社	名東郡佐那河内村下字高樋79	例祭	10月第3日曜	
5	朝宮神社	名東郡佐那河内村上字宮前59	例祭	10月第2日曜	
6	嵯峨天一神社	名東郡佐那河内村下字宮ノ本1	例祭	11月3日	
7	上一宮大栗神社	名西郡神山町神領西上角330	例祭	体育の日(10月第2月曜)	
8	王子神社	勝浦郡上勝町福原川北7	例祭	10月19日	

表2 神輿の川渡御(徳島県)

No.	神社	所在地	機会	実施日	備考
1	龍王神社	徳島市八万町下大野1	例祭	11月4日	現在休止
2	春日神社	板野郡松茂町中喜来字牛飼野西ノ越30	例祭	11月2・3日	現在休止
3	藤部八幡神社	板野郡藍住町徳命字西ノ丁268	例祭	体育の日(10月第2月曜)	現在休止
4	朝宮神社	名東郡佐那河内村上字宮前59	例祭	10月第2日曜	川、天狗が先導
5	大宮八幡神社	名東郡佐那河内村下字高樋79	例祭	10月第3日曜	川
6	瀧宮神社	美馬市木屋平字太合173	例祭	7月9日	川
7	蛭子神社	阿南市那賀川町中島字蛭子原663	例祭	10月第1日曜	現在休止
8	阿津神社	海部郡海陽町相川字阿津1	例祭	11月3日	川
9	井ノ上神社	海部郡海陽町日比原字正田85	例祭	7月第1日曜	川

表3 嵯峨天一神社及び境内社 年間祭礼行事

月日	行事	備考
1月2日	交通安全祈願祭	
1月9日	府中殿神社祭礼	
1月9日	祈年祭及び古神札焼納祭	
2月1日	秋葉神社鎮火祭	
2月11日	鍬祭り祭	
3月社日	地神さん	
6月14日	御日待ち祭	
6月15日	稲祈禱祭	
7月7日	八坂神社祇園七日祭	
7月11日	府中殿神社祭礼	
7月11日	鍬祭り祭	
7月第2日曜日	八坂神社祇園祭	
7月15日	夏祭り（麦初穂）	
8月15日	定祭盂蘭盆神事	
8月26日	山の神祭	
9月第1日曜日	秋葉神社例祭	
社日	地神さん	
11月1日	秋季例大祭 当屋祓い	
11月2日	秋季例大祭 宵宮祭	御供握り
11月3日	秋季例大祭	
11月23日	新穀感謝祭	
12月31日・元旦	若宮神社（丸田）祭礼日	